

NPO 法人静岡情報産業協会令和3年度事業計画(案)

1. 事業計画の概要

協会は平成28年度より、組織活性化委員会を中心に事業活動の見直しを図り、協会の期待に応えるための活動形態を「人材育成・教育研修」、「ビジネス・マッチング」、「人材開拓推進」のそれぞれの事業の展開を担う部会として組織し、各事業部会が主体となって会員の要望を汲み上げてきめ細かく事業を展開してきた。

令和元年度には、NPO法人化以前から続いていた事務局体制も一新し、昨年度は任意団体として創立以来30周年を迎え、今後創始の精神をベースに、「情報の産業化・産業の情報化」に資する事業展開を進めた。

そこで、「人材育成・教育研修部会」では、この部会が有する特性を活かし、デジタルトランスフォーメーション(DX)時代における新たな技術や今後のICT業界の方向性を示唆する講師陣を招聘してセミナー、研修会を開催し、会員各層にとって有用な最新情報の提供や技術者の技術力向上に役立てる。

また、当協会の特色の一つでもある、地元の大学、専門学校などとの提携効果の成果も表れており、本年度もその関係を保ち更なる強化を図って、地域や業界が抱える課題の解決や、地域全体の教育/研究力を高めることを目的に会員企業の技術者育成研修を継続する。

さらに、同部会事業として定着をしていた海外視察研修事業については、昨年度コロナ感染症の影響を受け断念する結果となり、今年度も見通しが立たないため、国内に視野を転じて、先進事例など学ぶべき候補地域も視野に入れつつ対象を広げて最終的な判断を行う。

次に、「ビジネス・マッチング部会」では、会員相互及び地域との交流を深め新たなビジネスの機会創生を図る機会を増やすことを目的に、会員企業が保有する自社の得意技術やサービスなどを発表し、そこから相互交流を発生させる試みを昨年度から始めてきた。ところが、残念ながらコロナ禍により、リアルな場所での交流会の創設が困難となり、リモート会議方式による会員交流の方法に切り替えてノウハウの蓄積も進めることができた。

そこで本年度は、その結果を踏まえてリアルな場あるいはリモートのいずれでも可能な体制を用意し、更なる交流成果の向上を求めていく。

これと並行して、かねてより懸案であった会員企業の「わが社の一押し」をテーマにした、各社の特長や特性を訴求することを目的に、SIIAのウェブサイト上に各社のコンテンツを公開する。そして、公開後に会員交流会を通じて、会員同士の知り合う機会を深め、そこから新たなビジネスチャンスが創出することを狙いとする。

また、静岡商工会議所との意見交流に端を発した「小規模事業者向け業務アプリ作成」に関する研究会「Kintone Café」も実績を積み重ねてきた。その結果、今年度は協会会員が保有する技術やノウハウを提供し、商工会議所会員が抱える課題解決策に対して、当協会独自の具体策を提案できるような体制づくりを目指す。

一方、ICT 業界においても慢性的な人材不足の問題を抱え、その解決のための事業を中心に活動している「人材開拓推進部会」では、本年度も継続して同様のテーマにより地元の ICT 企業の人材確保をテーマに活動する。

中長期事業となる部会活動で5年目となる本年度は、昨年度からのコロナ禍による影響を逆手に取り、対面セミナーと比較して学生と企業相互に時間・空間的効果の大きい Web セミナーを活用し、併せてこれまで積み上げてきたインターンシップ事業のノウハウを活かし、リモート会議方式も視野に入れ、ICT 企業の魅力と仕事のやりがいを知る機会を提供する企画を実施する。

また、一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)の地域連携事業募集には今年度も応募して地域ビジネス活性化に資する活動を活発化する。

さらに、例年通りの地域連携事業に参加協力に加え、昨年度立ち上げを目指した静岡市 (ICT 推進課) との協働事業 (仮称)「CIVIC TECH 静岡」の実現に向けて、地域のニーズ調査から SIIA 会員の参加によるアプリ作成などの成果を目指す。

2. 事業の骨子

以上を踏まえ、当協会今期事業を次のように計画する。

(1) 人材育成・教育研修部会の事業

- ① 通常総会開催時に講師を招き講演会を開催する。
 - ・実施時期：令和3年5月21日
 - ・開催場所：静岡商工会議所5階ホール
 - ・経費予算：10万円

- ② 国内視察ツアーを実施して ICT 業界の最先端情報を収集する。
 - ・実施時期：令和3年6月～例年3年2月
 - ・開催場所：未定
 - ・実施内容：ICT 関連企業あるいは地域を訪問し、業界最先端技術情報収集
 - ・収入予算：120万円
 - ・経費予算：140万円

- ③ 地域 ICT 企業の地力向上のための技術研修事業を、静岡大学の協力を受けて実施する。
 - ・実施時期：令和3年8月～9月
 - ・予定人数：20人
 - ・開催場所：静岡大学
 - ・収入予算：60万円
 - ・経費予算：110万円

- ④ これからの IT 技術者に必要なスキルをピックアップし、ICT 最新技術向けの

ビジネス講座を実施する。

- ・実施時期：令和3年11月
- ・開催場所：静岡市産学交流センター等（未定）
- ・収入予算：40万円
- ・経費予算：50万円

⑤ 会員からのニーズに応じたセミナーを実施する（2回）。

- ・実施時期：令和3年7月、令和4年2月
- ・開催場所：静岡市産学交流センター等（未定）
- ・経費予算：25万円

⑥ 小中学生向けプログラミング教室を開催する。

- ・開催時期：令和3年12月
- ・開催場所：静岡電子情報カレッジ
- ・経費予算：20万円

（2）ビジネス・マッチング部会の事業

① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用し、会員企業交流セミナー及び会員交流会を開催する。

- ・開催時期：令和3年7月～令和4年2月の間で4回
- ・開催場所：静岡商工会議所会議室
- ・収入予算：10万円
- ・経費予算：20万円

② 会員企業紹介コンテンツの制作およびウェブサイト上への公開

- ・SIIAとしてのウェブサイト公開用のコンテンツ規格（テンプレート）の作成
- ・各社から提供されたコンテンツをSIIAウェブサイトの特設サイトに公開
- ・会員交流会を活用した情報交換会、自社アピールセミナーなどを開催
- ・開催期間：令和3年4月～2月
- ・経費予算：25万円

③ 「Kintone Café」を開催し、参加者と小規模事業者向けアプリ開発を試行する。

- ・実施時期：令和3年7月～令和4年2月
- ・経費予算：20万円

（3）人材開拓推進部会の事業

1. 合同就職フォーラムの企画・立案

- ①新規学卒者向けに、会員企業によるWebセミナー開催し学生の業界に

対する理解度を深める。

・収入予算：20 万円

・経費予算：90 万円

2. インターンシップ制度の企画・立案

① 会員企業の合同インターンシップ制度を実施する。

② ICT 業界では、インターンシップ受け入れも実際の現場での体験が難しいため、従来型を一新し、学生の満足度を高める。

③ インターンシップ制度を「採用目的主体」を改め、「学生との接点増やし、業界知識を深めさせることにより、業界全体の応募者を増加させる」ものとしていく。

・経費予算：40 万円

3. 県外地域の教育機関と静岡出身学生の就職動向情報交換会を実施し、更には当協会会員の求人情報を直接発信して、翌年度の求人活動の一助とする。

・経費予算：3 万円

(4) 調査研究・交流促進の事業

① 総会時会員交流会を実施する。

・開催時期：令和 3 年 5 月 21 日（総会および講演終了後）

・開催場所：静岡商工会議所

・参加人数：50 人

・経費予算：12 万円

② 理事交流会を実施する

・収入予算：12 万円

・支出予算：12 万円

③ 総会・理事会・運営委員会・WG 等の会議開催費

・経費予算：22 万円

④ 「静岡市の公衆無線 LAN 事業」の作業部会、及び事業協議会に参加する形で協力・助言を継続する。

⑤ 必要な情報収集には WG メンバーを他地域視察に積極的に派遣し、助言・提言の情報量を増す。

(5) 地域連携事業

① 地域の団体・機関の実施する事業等に協力する。

- i. 協会員への情報提供のため(一社)情報サービス産業協会(JISA)の入会継続
 - ・経費予算：25万円
- ii. JISA「地域連携事業」プログラムに参加する。
 - ・収入予算：30万円
- iii. 静岡商工会議所「情報文化部会」に参加協力する。
- iv. IT推進協議会に参加協力する。
- v. 静岡市（ICT推進課）との協働事業「CIVIC TECH 静岡」に参加協力する。

② 西部／東部ベンダー企業組織と活動を連携する。

(6) 広報事業

- ① 会員に対する情報提供(Web 広報、パンフレット作製、HP・サーバー管理等)
 - ・経費予算：60万円